

6月7日（水） 朝礼のお話し

「いじめられた思い出は忘れられない」

今週からもう6月です。一学期も半分が終わってしまいました。早いですね。6月は大きな行事も長いお休みもないので落ち着いて毎日の生活や学習に取り組める時期になりますね。

さて、今日のお話です。毎年6月は「ふれあい月間」といって、東京都の小学生、中学生みんなが「お友達を大事にできているかな？」「いじめは無いかな？」と振り返り、考えてみることになっています。

実は校長先生、子供の頃いじめにあったことがあります。小学校三年生の時でした。周りにいた人からいやなあだ名をつけられ、何をやってももうまくいかないようされてしまいました。その時は助けてくれる人もいなかったの、とつてもつらい思いをしました。

この時のことは今からもう50年も前のことです。きっと、その時校長先生をいじめた人はそんなこととっくに忘れてしまっていると思います。でも校長先生はいじめた人の名前も、顔も、その時の様子もしっかりと覚えています。とっても悲しいことですが、いじめられた思い出は、いじめられた人にとっては忘れられない思い出になってしまうのです。自分のことを誰かに覚えていてもらうのは本当はうれしいことですよね。でもこんなふうに誰かをいじめたことでその人に覚えられているなんてちょっとうれしくありませんね。

このけやき小学校ではいじめは絶対にだめです。理由を改めて説明する必要はないとおもいますが、とにかく「ダメなものはダメ」です。校長先生も他の先生方もいじめは絶対に許しません。誰かをいじめていい理由なんか、どこにもありません。誰かをいじめていい人なんか一人もいません。そして、このけやき小には誰かに意地悪をしたり、悲しい思いをさせてしまうような子は一人もいないと校長先生信じています。けやき小の子には誰一人として悲しくて忘れられないような思い出を残してほしくありません。

この6月は誰かにそんな悲しい思い出がのこらないように、もう一度自分を振り返ってみるための「ふれあい月間」です。各クラスでも色々な取り組みがあると思います。それを一つ一つ大事にしていって下さい。校長先生からのお願いです。

さて、今日は「いじめられた思い出は忘れられない」というお話しをしました。今日も最後までいっしょうけんめい聴いてくれてありがとう。お話を終わります。